

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		2・東書	第1, 2学年	生活 101 生活 102	どきどき わくわく あたらしい せいかつ 上 あしたへ ジャンプ 新しい生活 下
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 各学年の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、学校で見付けたことを他者に伝えたり、町を探検したりする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考える。 「身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容」については、小動物を飼育して特徴を調べたり、動くおもちゃを製作したりする活動を通して、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくする。 「自分自身の生活や成長に関する内容」については、自分が成長したことをまとめたり、感謝の気持ちをお世話になった人に伝えたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活する。 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元において、学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、2年間にわたり、思いや願いを実現する登場人物を掲載したり（全学年）、○○図鑑などの「学びを深める」コーナーを掲載したり（全学年）するなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>				
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・配列については、生活科の学びと中学年以降の学びのつながりをイメージできる「つながるひろがる」を位置付け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、18の単元で構成され、総ページ数は260ページで、前回より約9%増となっている。（判型はA4判）</p>				
使用上の配慮等	<p>○ 冬の行事として「さっぽろ雪まつり」を取り上げ、季節ごとの行事に気付かせたり（下巻）、キャラクターが思考を促すヒントの投げかけをしたり（上下巻）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 各単元の最初のページに育成すべき資質・能力を吹き出しとイラストで示したり（全学年）、巻末に実物大の動植物を掲載した「ポケットずかん」を示したり（上巻）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての紙面に強い色彩の使用を避け、落ち着いた淡い色調を使用したり、掲載されている全ての文字をユニバーサルデザインフォントで統一したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>				
指導上の配慮等	<p>○ 地域素材については、上巻の「冬の遊び図鑑」や「雪や氷で遊ぼう」で扱っている。下巻では、「みんなで使う施設のことを話し合おう」で札幌市中央図書館、「冬の行事に参加しよう」で「さっぽろ雪まつり」、「乗り物に乗ろう」で函館市の路面電車などを扱っている。</p> <p>○ ICTの活用については、タブレット端末、大型モニタ、デジタルカメラ、実物投影機などのICT機器の有効な活用例が示されている。また、使い方をまとめた「情報機器を使おう」を設けたり、「Dマーク」でウェブ上の関連するコンテンツを示したりする工夫がなされている。</p> <p>○ 幼・保・小連携については、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定を取り入れたスタートカリキュラムの編成に配慮がなされている。さらに、幼児期の教育との接続を目指し「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の具体的な場面も例示され、解説文を添える工夫がなされている。</p>				
本市児童の学習の状況等	<p>○ 具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考える力を育むことができるよう、「見付ける」「比べる」「たとえる」「試す」「見通す」「工夫する」等の多様な学習活動において、写真や挿絵、吹き出し、表現作品などで随所に学習活動例が示されている。また、下巻には、「やってみよう考えよう」として、気付いたことを基に考えるヒントをまとめる工夫がなされている。</p>				

	<p>○ 多様な方法を使って気付いたことを表現したり、相手や目的に応じた伝え方を選んだりできる力を育むことができるよう、活動を振り返り、気づきを言葉、歌、動作など多様な方法で表現する活動が例示されている。また、観察したことを表現するヒントになる「観察図鑑」や様々な整理の方法を示す工夫がなされている。</p> <p>○ 中学年以降の教科の学習に円滑に接続できるよう、鳥瞰図で空間認識の広がりを示したり、公共施設などを取り上げたりして、「社会科」の社会的な見方・考え方につながる配慮がなされている。また、身近な自然を使って遊ぶ学習を通して、自然のきまりや一定の変化に気づき、「理科」の見方・考え方につながるように挿絵や吹き出しの工夫がなされている。さらに、「つながる広がる私の生活」という探究の過程と近い展開の単元を設け、「総合的な学習の時間」の探究的な見方・考え方につながる姿を掲載している。</p>
その他	

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
			4・大日本	第1, 2学年	生活 103 生活 104
取 扱 内 容	学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 の 目 標 、 内 容 等	<p>○ 各学年の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、校庭を採検して絵に表したり、インタビューカードを作成したりする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考える。 ・「身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容」については、花や野菜を栽培し観察したり、楽しいおもちゃを製作したりする活動を通して、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくする。 ・「自分自身の生活や成長に関する内容」については、自分発見すごろくを製作したり、これからの自分について手紙を書いたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活する。 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元において、吹き出しを豊富に掲載し、見通しをもたせるとともに、「せいかつことば」を掲載したり（全学年）、「がくしゅうどうぐばこ」を掲載したり（全学年）するなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>			
内 容 の 構 成 ・ 排 列 、 分 量 等	<p>○ 内容の構成・配列については、これまでの成長を振り返る活動を位置付け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、9の単元で構成され、総ページ数は273ページで、前回より約4%増となっている。（判型はA B判）</p>				
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 「採検カメラ」を活用し、見付けたことを記録したり（上巻）、透明シート「採検ライト」を使って夜の町の様子について考えたり（下巻）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 単元の導入に見開きのダイナミックな写真を示したり（上下巻）、話形を示して児童自身の言葉を引き出す吹き出しを示したり（上巻）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての紙面に色覚の特性によらず情報が読み取れる配色をしたり、見やすく読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>				
指 導 上 の 配 慮 等	<p>○ 地域素材については、上巻の「雪や氷と仲良し」で、生活の言葉として「雪の名前」を扱っている。</p> <p>○ ICTの活用については、パソコン、タブレット端末、大型モニタ、デジタルカメラ、電子黒板などのICT機器を活用する場面が例示されている。また、デジタルコンテンツが用意され、対応するページにマークで示す工夫がなされている。</p> <p>○ 幼・保・小連携については、目次の前にページを設け、合科的・関連的な指導や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえたスタートカリキュラムの編成に配慮がなされている。特に仲間づくりの活動を意識し、子どもが学校生活の楽しさや安心感を獲得し、その上で幼児期に培った力が発揮できるよう、忍者のキャラクターを使って問いかける工夫がなされている。</p>				
本 市 児 童 の 学 習 の 状 況 等	<p>○ 具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考える力を育むことができるよう、「見付ける」「比べる」「たどる」「試す」「見通す」「工夫する」等の多様な学習活動において、写真やイラスト、吹き出しなどで随所に学習活動例が示されている。また、下巻の「学習道具箱」には、「調べ方」のポイントを示す工夫がなされている。</p>				

	<p>○ 多様な方法を使って気付いたことを表現したり，相手や目的に応じた伝え方を選んだりできる力を育むことができるよう，活動を振り返り，気付きを電子黒板を使った発表，クイズ，紙芝居，ポスター，地図など多様な方法で表現する活動が例示されている。また，下巻の「学習道具箱」の「伝え方」には，発表のヒントや伝え方の例をまとめる工夫がなされている。</p> <p>○ 中学年以降の教科の学習に円滑に接続できるよう，下巻の「春の町発見」では「道カード」を使った初歩的な地図の作り方を取り上げ，「学習道具箱」の「地図を作ろう」では「社会科」の地図の書き方・見方の基礎につながる活動が示されている。また，下巻ではゴムや音を使った遊びを通して，条件によるきまりに気付くような活動を取り上げるとともに，昆虫の生態や雲の様子が示され，「理科」への接続が意識されている。さらに，世界の国々に目を向けることで，「社会科」や「総合的な学習の時間」への接続を意識させる内容を掲載する工夫がなされている。</p>
その他	

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		11・学図		第 1, 2 学年	生活 105 生活 106
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 各学年の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、学校を探検して発見カードを製作したり、町探検すてき発見カードを製作したりする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考える。 「身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容」については、アサガオや野菜を栽培し観察したり、おもちゃの動かし方を調べたりする活動を通して、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくする。 「自分自身の生活や成長に関する内容」については、がんばったカードを製作したり、これからの私について作文を書いたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活する。 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元において、学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、多様な対話活動の様子を掲載したり（全学年）、「学び方図かん」（全学年）を掲載したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>				
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・配列については、「はってん」で理科、社会科とのつながりを明示し、「すてきな3年生になりたいな」を位置付け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、11の単元で構成され、総ページ数は252ページで、前回より約3%減となっている。（判型はA4変判）</p>				
使用上の配慮等	<p>○ 冬の行事として「旭川冬まつり」を取り上げ、季節ごとの行事に気付かせたり（下巻）、4人のキャラクターのつぶやきなどで、子どもの気付きの質を高めたり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 各単元のタイトルを工夫して自己決定の場の設定を示したり（全学年）、児童の学びが深まるよう2段階の学びの構成を示したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての紙面で見やすく分かりやすい色使いにしたり、記号やマーク表示をできるだけ抑えて、シンプルで見やすい工夫をしたりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>				
指導上の配慮等	<p>○ 地域素材については、上巻では白鳥のいる冬景色や、氷を使った遊びやボブスレー、アイスキャンデルなどが紹介されている。下巻では札幌市のマンホールの蓋、「旭川冬まつり」を扱っている。</p> <p>○ ICTの活用については、パソコン、タブレット端末、大型モニタ、デジタルカメラなどのICT機器の有効な活用例が示されている。また、下巻末に設けられた「学び方図鑑」の「道具の使い方」で、使い方のアドバイスが紹介されている。さらに、「QRコード」でインターネット上のコンテンツにつながるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 幼・保・小連携については、上巻の最初に導入ページ「がっこうだいすき」や入門期単元「がっこうたんけん」を設け、子どもが学校生活にスムーズに適応できるようにスタートカリキュラムとして位置付けられている。また、早く学校に慣れ親しみ、明日も学校に行くのが楽しみとなるように、意欲を高めるような構成になっている。さらに、遊び単元を中心に、幼稚園児や保育園児と関わる活動を設定する工夫がなされている。</p>				
本市児童の学習の状況等	<p>○ 具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考える力を育むことができるよう、上巻の「比べる」「たとえる」、下巻の「試す」等の多様な学習活動において、写真やイラスト、吹き出しなどで随所に学習活動例が示されている。また、上・下巻の「学び方図鑑」には、「試す」「見通す」「工夫する」などの見方や考え方を示す工夫がなされている。</p>				

	<p>○ 多様な方法を使って気付いたことを表現したり、相手や目的に応じた伝え方を選んだりできる力を育むことができるよう、活動を振り返り、気づきをお話やクイズ、劇、ペープサート、紙芝居、日記など多様な方法で表現する実例が示されている。また、日記には、朱書きで教師のコメントを記す工夫がなされている。</p> <p>○ 中学年以降の教科の学習に円滑に接続できるよう、栽培や飼育の単元では理科の見方・考え方につながっていく姿がカードや吹き出しで示されている。また、町探検では地域や社会とのかかわりを通して、公共の施設や場所の存在に気づき、社会的な見方・考え方につながっていく姿が掲載されている。さらに、児童が思いや願いを実現していく学習展開により、「総合的な学習の時間」の探究的な見方・考え方につなげる工夫がなされている。</p>
その他	

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		17・教出		第 1, 2 学年	生活 107 生活 108
取扱内容 学習指導 要領の総 則及び各 教科の目 標、内容 等	<p>○ 各学年の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、校庭を散策して気付きの質を高めたり、町探検計画や地図を作成したりする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考える。 ・「身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容」については、花を栽培したり、動くおもちゃを製作したりする活動を通して、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくする。 ・「自分自身の生活や成長に関する内容」については、自分探検カードを製作したり、3年生になることについて作文を書いたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活する。 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元において、学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、育成する資質・能力を「サイコロ」のアイコンとして掲載したり（全学年）、「学びのポケット」を掲載したり（全学年）するなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>				
内容の 構成・ 排列、 分量等	<p>○ 内容の構成・配列については、コラム「はってん」で理科、社会科とのつながりを位置付け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、16 の単元で構成され、総ページ数は 272 ページで、前回より約 16 % 増となっている。（判型は A B 判）</p>				
使用上 の配慮 等	<p>○ 冬の行事として「さっぽろ雪まつり」を取り上げ、季節ごとの行事に気付かせたり（下巻）、キャラクターが児童と同一視線で試行錯誤したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 各単元の最初にインデックスを配置したり（全学年）、「もしも」のページを示したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての紙面に色覚などの特性を踏まえて判断しやすい配色をしたり、文字や記号を読みやすいよう写真やイラストに重ならないようにしたりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>				
指導上 の配慮 等	<p>○ 地域素材については、上巻で釧路市のスケートの様子や雪遊びの様子が紹介され、下巻では、旭山動物園、札幌の時計台、「さっぽろ雪まつり」を扱っている。</p> <p>○ ICT の活用については、パソコン、タブレット端末、電子黒板、実物投影機などの ICT 機器の有効な活用例が示されている。また、下巻末に設けられた「学びのポケット」では、デジタルカメラ、タブレット端末、ファクシミリ、電子メールなどの使い方が紹介されている。さらに、上・下巻の最初に示された QR コードを活用して、学習に役立つ情報を、ウェブサイトで見ることができるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 幼・保・小連携については、上巻の初めの「今日から 1 年生」という単元で、スタートカリキュラムが提案され、安心して、楽しく、確実に学校生活につなげる工夫がされている。また、幼児期の体験を生かし、学校生活に自信をもたせる構成となるよう工夫がなされている。</p>				
本市児童の 学習の状況等	<p>○ 具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考える力を育むことができるよう、「見付ける」「比べる」「たとえる」「試す」「見通す」「工夫する」等の多様な学習活動が、写真やイラスト、吹き出しなどで示されるとともに、「結びつける」「見方を変える」などの活動が「ヒント」として、右端に分かりやすく取り上げられている。また、下巻末の「学びのポケット」では、見方や考え方の方法を紹介する工夫がなされている。</p>				

	<p>○ 多様な方法を使って気付いたことを表現したり，相手や目的に応じた伝え方を選んだりできる力を育むことができるよう，言葉，動作，クイズ，紙芝居，マップ，劇化など，多様な表現手段を用いた実例が随所に示されている。さらに，下巻末の「学びのポケット」では，「すごろく」「新聞」「ポスター」などのまとめ方や発表の仕方を示す工夫がなされている。</p> <p>○ 中学年以降の教科の学習に円滑に接続できるよう，「〇〇への窓」コーナーを設け，随所に「理科への窓」や「社会科への窓」として，各教科との関連を示している。また，「素敵な笑顔憧れの仕事」は，「総合的な学習の時間」や「社会科」のほか，キャリア教育にもつながる配慮がなされている。さらに，「学びのポケット」の「いろいろな方法で考えよう」では，総合的な学習の時間で活用される「思考ツール」の基本的な例を示す工夫がなされている。</p>
その他	

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
			38・光村	第1, 2学年	生活 111 生活 112
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等		<p>○ 各学年の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、通学路の様子を調べたり、公共施設を探検したりする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考える。 ・「身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容」については、モルモットを飼育したり、動くおもちゃを製作したりする活動を通して、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくする。 ・「自分自身の生活や成長に関する内容」については、私のこと発表会をしたり、これからの自分についてまとめたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活する。 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元において、学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、各単元に「ホップ」のページで見通しを掲載したり（全学年）、「ステップ」のページで活動を深く豊かにするヒントを掲載したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・排列、分量等		<p>○ 内容の構成・配列については、磁石で動くおもちゃを作る活動など、有機的に中学年に結び付けていく活動を位置付け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、16の単元で構成され、総ページ数は256ページで、前回より約14%増となっている。（判型はA B判）</p>			
使用上の配慮等		<p>○ 学びを記録するための、張り替え可能なシールを活用したり（上下巻）、かわいらしい印を配置し、対話場面を数多く掲載（上下巻）したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 各単元の学習活動を「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階で示したり（全学年）、「ステップ」の段階に活動を広げるヒントを掲載したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての紙面において文字と写真、写真と写真との区別を明確にしたり、色による識別に頼ることなく形や濃淡で識別できるようにしたりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
指導上の配慮等		<p>○ 地域素材については、上巻の「冬と友達」や「冬の楽しみ」で、雪や氷の遊びを扱っている。</p> <p>○ ICTの活用については、低学年の発達段階を配慮し、学習効果が高まると想定される活動場面で実物投影機、デジタルカメラ、大型モニタの使用の効果をイラストなどで紹介している。また、随所に配置されたキャラクターのQRコードを読み取ることで、伝統行事、交通安全、道具の使い方などの様々な資料を見ることができるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 幼・保・小連携については、スタートカリキュラムページ「あたらしいいちねんせい」が設定され、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた入学当初の活動が網羅されている。また、入学当初の活動を楽しいイラストや身近な写真で示し、子どもの安心、自信、好奇心を中心軸にして、学校生活への期待感がふくらむような構成となるよう工夫がなされている。</p>			
本市児童の学習の状況等		<p>○ 具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考える力を育むことができるよう、「見付ける」「比べる」「たどる」「試す」「見通す」「工夫する」等の多様な学習活動において、児童のつぶやきなどの形で、さまざまな展開の仕方を示している。また、巻末資料には、「広がる生活事典」として、児童が自ら適切な学習方法を見付けることができるよう工夫がなされている。</p>			

	<p>○ 多様な方法を使って気付いたことを表現したり，相手や目的に応じた伝え方を選んだりできる力を育むことができるよう，発表や対話（絵，文章，観察カード，手紙，ポスター，クイズ，動作化，劇化，絵地図）など，発達段階や活動内容に合った多様な表現方法を随所に示すとともに，巻末資料「広がる生活事典」でも紹介する工夫がなされている。</p> <p>○ 中学年以降の教科の学習に円滑に接続できるよう，おもちゃづくりの単元「あそんでためしてくふうして」では，「理科」につながる磁石で動くおもちゃを取り上げ，町探検の単元「まちをたんけん大はっけん」では，「社会科」につながる見つけたことを地図に整理する活動を扱っている。また，成長単元「広がれわたし」では，「総合的な学習の時間」につながる，自ら課題を設定し，情報収集し，整理し，まとめる活動を取り入れるなど，中学年以降の学習に有機的に結びつけていけるような活動を示す工夫がなされている。</p>
その他	

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
			61・啓林館	第1, 2学年	生活 113 生活 114
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 各学年の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、学校のまわりを歩いたり、発見したことを伝えたりする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考える。 ・「身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容」については、生き物を飼育して特徴を調べたり、おもちゃを製作をしたりする活動を通して、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくする。 ・「自分自身の生活や成長に関する内容」については、自分の成長をまとめたり、ありがとうカードを製作したりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活する。 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元において、学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、多様な学習活動例を掲載したり(全学年)、「ひろがるきもち」のコーナーで生活を豊かにしようとする姿を掲載したり(全学年)するなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>				
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・配列については、「3年生へのステップブック『みらいにむかって』」を位置付け、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、18の単元で構成され、総ページ数は287ページで、前回より約7%減となっている。(判型はA B判)</p>				
使用上の配慮等	<p>○ 冬の行事として「さっぽろ雪まつり」を取り上げ、季節ごとの行事に気付かせたり(上巻)、キャラクターが気付きを促し疑問を投げかけたり(全学年)するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 各単元においてわくわくの扉を掲載し、単元の導入を工夫したり(全学年)、巻頭に学習過程「わくわく、いきいき、ぐんぐん」を示したり(全学年)するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての紙面に色覚特性への対応を示したり、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、誰もが見やすく、読み間違いが少ないような配慮や紙面上部に安全上の注意が必要な場面に「！」マークを掲載したりするなどの使用上の便宜が図られている。</p>				
指導上の配慮等	<p>○ 地域素材については、上巻で、冬の遊び(雪だるま、かまくら、チューブ滑り、氷のお面～帯広市、アイスキャンドル他)、下巻で上川郡の雪景色を扱っている。</p> <p>○ ICTの活用については、パソコン、タブレット端末、大型モニタ、デジタルカメラ、ビデオカメラなどのICT機器の有効な活用例が示されている。また、上下巻の最初に示されたQRコードを活用し、ウェブサイトでの学習に役立つ情報を見ることができるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 幼・保・小連携については上巻の最初に「学校大好きあいうえお」として、スタートブックのようなページを設け、合科的・関連的な指導や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた丁寧なスタートカリキュラムが構成されており、子どもが自信をもって自己を発揮し、安心して学校生活を始められるような工夫がなされている。</p>				
本市児童の学習の状況等	<p>○ 具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考える力を育むことができるよう、「見付ける」「比べる」「たとえる」「試す」「見通す」「工夫する」等の多様な学習活動において、写真や挿絵、吹き出し、表現作品などで随所に学習活動例が示されている。また、上・下巻末の「学習図鑑」には、調べたり、考えを深めたりするヒントをまとめる工夫がなされている。</p>				

	<p>○ 多様な方法を使って気付いたことを表現したり、相手や目的に応じた伝え方を選んだりできる力を育むことができるよう、随所に、活動を振り返り、気づきを多様な方法で表現する実例が示されている。また、言葉やクイズ、劇、ペープサート、紙芝居などの他、実演、俳句や詩、カルタなどを紹介する工夫がなされている。</p> <p>○ 中学年以降の教科の学習に円滑に接続できるよう、おもちゃづくりの単元では「理科」、町探検の単元では「社会」、世界とつながろうでは、世界の国々に目を向けることで「社会科」や「総合的な学習の時間」への接続を意識させる内容となっている。また、下巻末に「3年生へのステップブック」である「未来に向かって」を設けることで、2年間の振り返らせ、3年生以降の学習に期待を広げるような工夫がなされている。</p>
その他	

観 点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		116・日文	第 1, 2 学年	生活 115 生活 116	わたしとせいかつ上 みんな なかよし わたしとせいかつ下 ふれあい だいすき
取扱内容 学習指導 要領の総 則及び各 教科の目 標、内容 等					<p>○ 各学年の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、通学路を歩いてみたり、町の「すてき」を発表したりする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考える。 「身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容」については、小動物を飼育して特徴を調べたり、おもちゃを製作したりする活動を通して、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくする。 「自分自身の生活や成長に関する内容」については、自分の成長に関するインタビューをしたり、成長発表会をしたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活する。 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元において、学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、「学びのまど」を掲載したり（全学年）、「ちえとわざのたからばこ」を掲載したり（全学年）するなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>
内容の 構成・ 排列、 分量等					<p>○ 内容の構成・配列については、「3年生になるのが楽しみだね」を位置付け、中学年以降の教育との接続を図ったり、「ポケットずかん」を巻末ではなく必要な単元内に組み込んだりするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、17の単元で構成され、総ページ数は278ページで、前回より約3%増となっている。（判型はA B判）</p>
使用上 の配慮 等					<p>○ 地域の施設として「旭山動物園」を取り上げ、公共物や公共施設の利用に気付かせたり（下巻）、キャラクターが気付きのポイントや学習のヒントを提示したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 各単元で「学習のめあて」を表示したり（全学年）、小単元の導入場面に「考えるための技法」を示したり（全学年）するなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての紙面で文字の大きさ、色使いを工夫するなど、カラーユニバーサルデザインに配慮したり、下巻巻末に実物大の点字を触って体験できる紙面を掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
指導上 の配慮 等					<p>○ 地域素材については、上巻で「季節と遊ぼうー冬ー」や「冬の遊び図鑑」を扱っている。また、上巻では「北海道大学植物園」、下巻では「旭山動物園」、「HAC飛行機」などを扱っている。</p> <p>○ ICTの活用については、タブレット、大型モニタ、デジタルカメラ、実物投影機などのICT機器の有効な活用例が示されている。また、下巻には、「便利な道具の使い方」としてまとめられている。さらに、イラスト素材や動画、カードのデータなど「デジタルコンテンツ」の該当ページにはDマークを示す工夫がなされている。</p> <p>○ 幼・保・小連携については、学校に早く慣れることを重視してスタートカリキュラムが特設されている。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」のすべてに対応し、幼児期の学びを生かして安心して学校生活を送ることができるような構成になるよう工夫がなされている。</p>
本市児童の 学習の状況等					<p>○ 具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考える力を育むことができるよう、児童が主体的に考える場面において、「見付ける」「比べる」「たとえる」等の多様な学習活動の事例が、挿絵や写真、吹き出し、表現作品などで随所に示されている。また、下巻末の「知恵と技の宝箱」には「考える技観察の仕方」として、思考するヒントをまとめる工夫がなされている。</p>

	<p>○ 多様な方法を使って気付いたことを表現したり，相手や目的に応じた伝え方を選んだりできる力を育むことができるよう，気付いたことや考えたこと，楽しかったことなどを伝える場面で，言葉，絵，劇などの多様な表現方法を相手に応じて選択する事例が示されている。また，表現するヒントを，下巻末の「知恵と技の宝箱」の「まとめ方発表の仕方」として示す工夫がなされている。</p> <p>○ 中学年以降の教科の学習に円滑に接続できるよう，下巻で「社会科」につながるリサイクルや，「理科」の見方・考え方につながる比較や関係付けの視点など，教科・領域との接続を意図した学習活動の事例が，挿絵や写真，吹き出し，表現作品などで示されている。また，「夏休みを楽しく過ごそう」の単元では，総合的な学習の時間における探究（決める，チャレンジ，まとめる，伝える）を意識した展開となるよう工夫がなされている。</p>
その他	